

少数台数のリコール届出の公表について (平成23年9月分)

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成23年9月は14件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：株式会社モリタエコノス

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月1日	2803	車名：いすゞ 型式：BKG-NKR85AN 他 通称名：エルフ	35	平成20年4月25日～ 平成23年6月30日
不具合の部位等	ダンプ車の燃料ホースにおいて、道具箱を取り付けた際の燃料ホースの固定方法が不適切なため、道具箱と接触しているものがある。そのため、走行時の振動等により燃料ホースが損傷し、燃料が漏れ、最悪の場合、火災となるおそれがある。			

2. 届出者：株式会社ソーシン

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月7日	2808	車名：ソーシン 型式：PY5KUFM 通称名：-	24	平成12年7月1日～ 平成22年1月31日
不具合の部位等	燃料タンクにおいて、燃料タンクを固定しているサポートブラケットの形状が不適切なため、車体の振動により燃料タンクの下面に亀裂が発生する可能性がある。そのため、そのまま使用を続けると、亀裂が進行し、最悪の場合、当該亀裂部から燃料が漏れるおそれがある。			

3. 届出者：日野自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月7日	2812	車名：日野 型式：PJ-KV234L1 他 通称名：日野ブルーリボンII 他	30	平成18年3月9日～ 平成22年9月9日
不具合の部位等	前照灯消し忘れ防止装置を取付けた路線バスにおいて、当該装置の電気回路が不適切なため、前照灯スイッチに想定以上の電流が流れることにより、当該スイッチの接点が摩耗し、そのままの状態で使用を続けると、当該スイッチの接点が折損し、前照灯が点灯しなくなるおそれがある。			

※ 平成23年9月7日 リコール届出番号：2811と併せて公表済み

4. 届出者：いすゞ自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月7日	2813	車名：いすゞ 型式：LDG-LV234L3 他 通称名：エルガ	66	平成22年8月30日～ 平成22年12月6日
不具合の部位等	<p>① 路線バスのエンジンルーム内の電気配線において、配線の取付け位置が不適切なため、配線と配線固定ブラケットの端面が接触しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、配線がショートし、最悪の場合、エンジンが停止し、再始動が出来なくなるおそれがある。</p> <p>② エンジン停止中に音声合成放送装置（行き先案内放送等）を作動させるため、アイドルリングストップ装置のリレーボックスのリレー配線を変更した特別仕様の路線バスにおいて、変更後の復元作業が不適切なため、すれ違い用前照灯リレーの配線がリレーボックスに挟まれるものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、配線がショートし、最悪の場合、すれ違い用前照灯が点灯しなくなるおそれがある。</p>			

5. 届出者：日野自動車株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月7日	2814	車名：日野 型式：LDG-KV234L3 他 通称名：日野ブルーリボンII	99	平成22年8月23日～ 平成23年1月17日
不具合の部位等	<p>① 路線バスのエンジンルーム内の電気配線において、配線の取付け位置が不適切なため、配線と配線固定ブラケットの端面が接触しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、配線がショートし、最悪の場合、エンジンが停止し、再始動が出来なくなるおそれがある。</p> <p>② エンジン停止中に音声合成放送装置（行き先案内放送等）を作動させるため、アイドリングストップ装置のリレーボックスのリレー配線を変更した特別仕様の路線バスにおいて、変更後の復元作業が不適切なため、すれ違い用前照灯リレーの配線がリレーボックスに挟まれるものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、配線がショートし、最悪の場合、すれ違い用前照灯が点灯しなくなるおそれがある。</p>			

6. 届出者：アウディジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
9月7日	外1774	車名：アウディ 型式：ABA-42BUJF 通称名：R8 スパイダー 5.2FSI クワトロ	37	平成22年8月19日～ 平成23年7月4日
不具合の部位等	<p>燃料装置において、燃料ホースの組み付けが悪く、原動機の遮熱板との隙間が狭いものがあり、燃料ホースと遮熱板が干渉しているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、燃料が漏れ、最悪の場合、火災に至るおそれがある。</p>			

7. 届出者：トライアンフジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月13日	外1780	車名：トライアンフ 型式：CA 他 通称名：タイガー800 他	30	平成22年12月14日～ 平成23年5月17日
不具合の部位等	<p>用品設定しているセンタースタンドの固定用スプリングの設計が不適切なため、使用過程において伸びてしまい、元の長さに戻らず、センタースタンドを跳ね上げた状態に固定できなくなる場合がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、走行中の振動によってセンタースタンドが降下して地面に接触し、バランスを失い転倒するおそれがある。</p>			

8. 届出者：エム・エス・ケー農業機械株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月14日	外1782	車名：マッセイ・ファーガソン 型式：EDR-SU66C2 他 通称名：MF5475-4E 他	28	平成23年3月21日～ 平成23年6月7日
不具合の部位等	<p>農耕トラクタにおいて、ブレーキマスターシリンダーに製造不良のものがあるため、短時間にブレーキペダルを強く踏み込む操作を繰り返すと、一時的にブレーキペダルが踏みこめなくなり、ブレーキが利かなくなるおそれがある。</p>			

9. 届出者：フォード・ジャパン・リミテッド

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月15日	外1775	車名：フォード 型式：ABA-1FMEU74P 他 通称名：エクスペローラー 他	88	平成22年 1月 4日～ 平成22年 2月 2日
不具合の部位等	フロントシートのシート・リクライナにおいて、不適切に製造されたリクライナ・ギヤを組み付けたものがある。そのため、当該自動車が発生した場合、反動により乗員がシートバックに戻る衝撃によって、リクライナ・ギヤの噛み合いが外れ、シートバックが後方へ動くおそれがある。			

10. 届出者：TCM株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月16日	2826	車名：TCM 型式：JDS-F144 他 通称名：FD135-4 他	25	平成20年 9月29日～ 平成22年 3月 5日
不具合の部位等	フォークリフトのコモンレール式燃料噴射装置のコモンレールにおいて、材質及び加工不良により、コモンレールの強度が低下しているものがある。そのため、燃料供給時の圧力変動の繰り返しによりコモンレールに亀裂が生じ、燃料が漏れるおそれがある。			

※ 平成23年9月16日 リコール届出番号：2820 と併せて公表済み

11. 届出者：マツダ株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月21日	2825	車名：マツダ 型式：KD-LVLR 他 通称名：MPV 他	4	平成 8年 3月14日～ 平成10年12月22日
不具合の部位等	フロント・ホイールハブの補修部品において、ハブボルト穴の加工が不適切なため、ホイールハブやハブボルトがディスクプレートと干渉するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、ホイールナットの緩みやハブボルトの折損が発生し、最悪の場合、走行不能に至るおそれがある。			

12. 届出者：コベルコ建機株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月21日	2827	車名：コベルコ 型式：CH02 通称名：HK350W	5	平成15年 5月16日～ 平成16年 4月 6日
不具合の部位等	動力用油圧配管において、製造工程における作動油充填後の内部のエア抜き・調圧作業の簡便化のために備えられているエア抜き用プラグの内部のシール部が、使用過程において損傷する可能性がある。そのため、当該プラグから作動油が漏れ、そのままの状態で使用を続けると、最悪の場合、走行不能になるおそれがある。			

13. 届出者：いすゞ車体株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月27日	2828	車名：いすゞ 型式：LKG-CYZ77AJ 他 通称名：ギガ	15	平成22年 8月17日～ 平成23年 5月26日
不具合の部位等	大型トラックのブレーキ等のエアタンクを移設した車両において、エアタンクブラケットの強度が不足しているため、車体振動等により当該ブラケットに亀裂が生じることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、エアタンクブラケットが折損し、最悪の場合、エアタンクが脱落するおそれがある。			

1 4. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
9月29日	2832	車名：三菱 型式：SKG-FBA00 他 通称名：ふそうキャンター	35	平成22年10月18日～ 平成23年5月11日
不具合の部位等	小型トラックのメータークラスターの交換等の作業時において、メータークラスターECUのデータが正しく入力されないものがある。そのため、速度計の速度表示等が正しく表示されないおそれがある。			

【参考】

●平成23年9月のリコール届出総件数

		内 訳	
		対象台数 100 台以上	対象台数 100 台未満
国産車	32件 (+11)	22件 (+12)	10件 (-1)
輸入車	7件 (-3)	3件 (-3)	4件 (0)
計	39件 (+8)	25件 (-9)	14件 (-1)

※ () 内は、対前年同月比

●リコール届出件数及び対象台数 (平成23年度)

<速報値>

月	届出件数			対象台数		
	国産車	輸入車	合計	国産車	輸入車	合計
4	6(-19)	6(-2)	12(-21)	1,335(-78,712)	3,757(+459)	5,092(-78,253)
5	12(-4)	10(+4)	22(0)	465,720(+437,620)	6,040(-2,778)	471,760(+434,842)
6	23(-6)	9(-1)	32(-7)	396,008(-104,147)	719(-5,287)	396,727(-109,434)
7	15(-2)	6(-5)	21(-7)	73,797(-134,047)	3,930(-7,358)	77,727(-141,405)
8	9(+1)	4(+2)	13(+3)	5,343(-3,275)	1,671(+1,661)	7,014(-1,614)
9	32(+11)	7(-3)	39(+8)	359,636(-447,784)	12,921(+7,053)	372,557(-440,731)
小計	97(-19)	42(-5)	139(-24)	1,301,839(-330,345)	29,038(-6,250)	1,330,877(-336,595)

※ () 内は、対前年比